

なるほど！環境学習室 第2回「新宿発！実践☆省エネライフ」

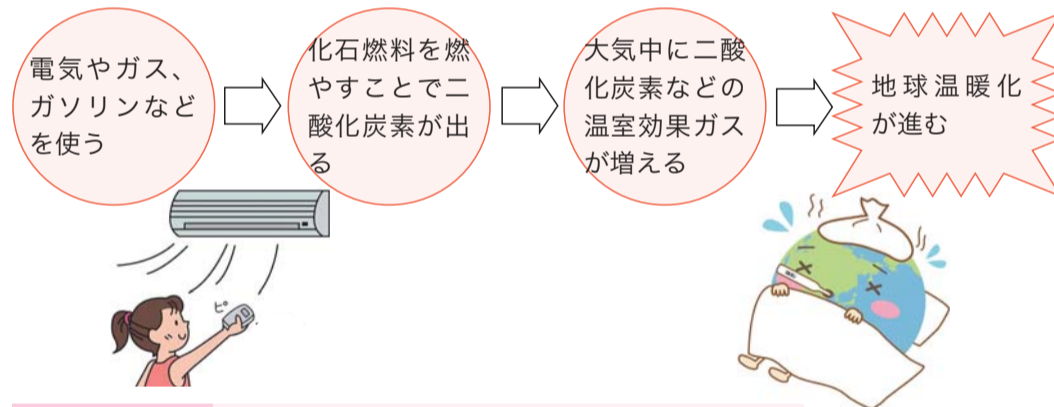


知っているようでよく知らない、でも本当はわたしたちの生活にとってとても大切。そんな環境問題を、子どもから大人まで分かりやすくお知らせするのが「なるほど！環境学習室」です。第1回（「広報しんじゅく」18年7月25日号）は「地球温暖化」の影響が意外に身近に迫っていることを学習しました。第2回の今回は、「地球温暖化を防ぐために、わたしたちにできること」を学習します。新宿の身近な自然を守るためにも、できることから始めてみましょう。
【問合せ】環境保全課環境推進係（本庁舎7階）☎（5273）3763へ。

1 まずは前回の復習

ポイント1 地球温暖化の一番大きな原因は二酸化炭素

二酸化炭素には地球を暖める性質があるんだ。今、地球上ではその二酸化炭素が増えてるんだよ。なぜかと言うと、石油や石炭などの化石燃料を燃やしているからなんだ。でも、化石燃料は電気をつくったり自動車を走らせたりいろいろなことに使われていて、わたしたちの暮らしにとっても身近なものだよ。二酸化炭素の排出を抑えて、地球温暖化を防ぐためには電気やガスなどの使い方を工夫して、省エネを実践することが大切なんだ。



ポイント2 地球温暖化の影響は身近に迫っている

地球温暖化って遠い将来の話だと思ったら大まちがい！地球温暖化の影響はすでに少しずつ現れ始めていて、これからもっと深刻になるんじゃないかと心配されているんだ。それに、世界の国々が話し合って決めた二酸化炭素などを減らす約束である「京都議定書」（注※）があるんだけど、この約束が守れないと日本はペナルティーを受けて、わたしたちの暮らしにも影響が出るんだ。つまり、地球温暖化を身近に迫った問題として考えて、今すぐ行動を起こさないといけないんだ。

《地球温暖化による主な影響》

◎異常気象がよく起きるようになったり、台風が大型化する



◎気候が変化して食料の生産に影響を与える



◎生態系が変化してマラリア等の熱帯病がまん延する可能性がある



（注※）京都議定書：1997年（平成9年）に京都で開かれた国際会議で採択された、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減目標などに関する取り決め。日本は、2008年（平成20年）から2012年（平成24年）の5年間で1990年（平成2年）に比べて温室効果ガス排出量を6%削減することとなりますが、2005年（平成17年）の時点で8.1%増加しており、目標を達成するためには相当の努力が必要です。

2 冬こそ省エネであつたまろう！

暖房をよく使う冬はエネルギーをたくさん使う季節なんだ。だから、こたつやエアコン、ファンヒーターなどの暖房器具にばかり頼らないで、暖かく過ごす工夫をしてみよう。上手に工夫すれば省エネにもなって、光熱費も節約できるよ。たとえば、カーディガンを着れば体感温度は2.2℃上がるんだよ。上手に重ね着をすれば暖房を使い過ぎなくてすむから省エネになるんだ。それから、厚手のカーテンを使ったり、扇風機で部屋の空気を循環させたりすれば、部屋が効率よく暖まるよ。家の中にはまだまだ工夫できるところがたくさんあるはず。下の絵を参考にしながらも省エネができる場所を探してみよう！

カーテンは厚手の方が効率よく部屋が暖まります。

電気製品は、使わないときはコンセントからプラグを抜くようにすれば、待機電力が節約できます。

電気カーペットの設定温度を低めにすると、年間約4,090円の節約になります。

【出典】「家庭の省エネ大辞典 第三版」
財団法人省エネルギーセンター

わたしたちができることも、たくさんあるのね。



今回は省エネの話じゃ。省エネは地球に優しいだけじゃなく、実にお得なんじゃよ。

暖房機の温度設定を1℃下げると、エアコンの場合は年間約1,170円、ガスファンヒーターの場合は年間約1,210円、石油ファンヒーターの場合は年間約540円の節約になります。

暖房機を必要なときだけ使うようにして、1日1時間使う時間を減らすと、エアコンの場合は年間約900円、ガスファンヒーターの場合は年間約1,970円、石油ファンヒーターの場合は年間約930円の節約になります。

電気こたつの設定温度を低めにすると年間約1,080円の節約になります。

ほくたちも、身近なことから始めてみよう。



3 拝見、お隣の省エネライフ

省エネを始めても「長続きしない」「コツが分からない」と感じたことはありませんか。省エネはちょっとした工夫や考え方を覚えることでうまくいくことが多いのです。今回は、上手に省エネを実践している方の省エネライフを紹介します。

◎秋野鐵好さん 西落合2丁目在住

区が貸し出している電気使用量を表示する機器「省エネナビ」を昨年8月から使い始めた秋野さん。省エネに取り組むようになってからあることに気付いたそうです。

「家にはたくさんの電化製品がありますが、いつも電源を入れておく必要があるものは意外と少ないことに気付きました。それからは、電気ポットやエアコンなどを使わないときは、コンセントからプラグを抜くようになりました。テレビもつけっぱなしにしないよう気を付けています」

省エネナビを使い始めて数か月が過ぎて、省エネの効果も出ています。

「省エネナビは電気を使い過ぎていないかどうか一目で分かるので、自然に省エネ行動ができるようになりました。家族と一緒に協力してくれているので、電気使用量は前の年に比べて11%も減りました」



◎岩本美枝さん 上落合3丁目在住

省エネに取り組むグループ「新宿6%チーム」の代表を務めている岩本さん。環境家計簿を使って二酸化炭素を減らすことに取り組んでいます。

「新宿6%チームでは、環境省がエコライフの輪を広げるために進めている「エコファミリー」への参加を呼び掛け、約400人の方に登録していただきました。今年度は早稲田地球感謝祭や、ふれあいフェスタなどのイベントで呼び掛けを行いました」

そんな岩本さんに省エネの極意について伺いました。

「省エネといっても、我慢をしてケチケチした生活をするのではなく、無駄をなくして光熱費を削減して得をしようという気持ちが大切です。たとえば、お風呂はお湯が冷めないうちに家族で続けて入れば省エネになりますよ」



「ふれあいフェスタ」で省エネを呼び掛ける岩本さん（写真左）

4 「省エネナビ」を使ってがしこく省エネ！

家庭の電気使用量を常時表示する「省エネナビ」を貸し出しています。電気使用量の状況いつでもチェックできるので、ご家庭で省エネを進めたい方に最適です。省エネを実践すれば、電気料金も安くなるかもしれません。

あなたの家庭にも省エネナビを設置してみませんか？

【対象】区内在住の方、または区内に所在地を置く団体（営利を目的とした団体を除く）

【貸出期間】1年間

【貸出条件】3か月に1度、電気使用量や取り組んでいる省エネ行動に関する簡単なアンケートに答えていただきます。

※省エネナビの取り付けには確認が必要な事項がありますので、環境学習情報センターのホームページ（<http://www.shinjuku-ecocenter.jp/>）をご覧ください。電話でお問い合わせください。

【問合せ】環境学習情報センター☎（3348）6277へ。

